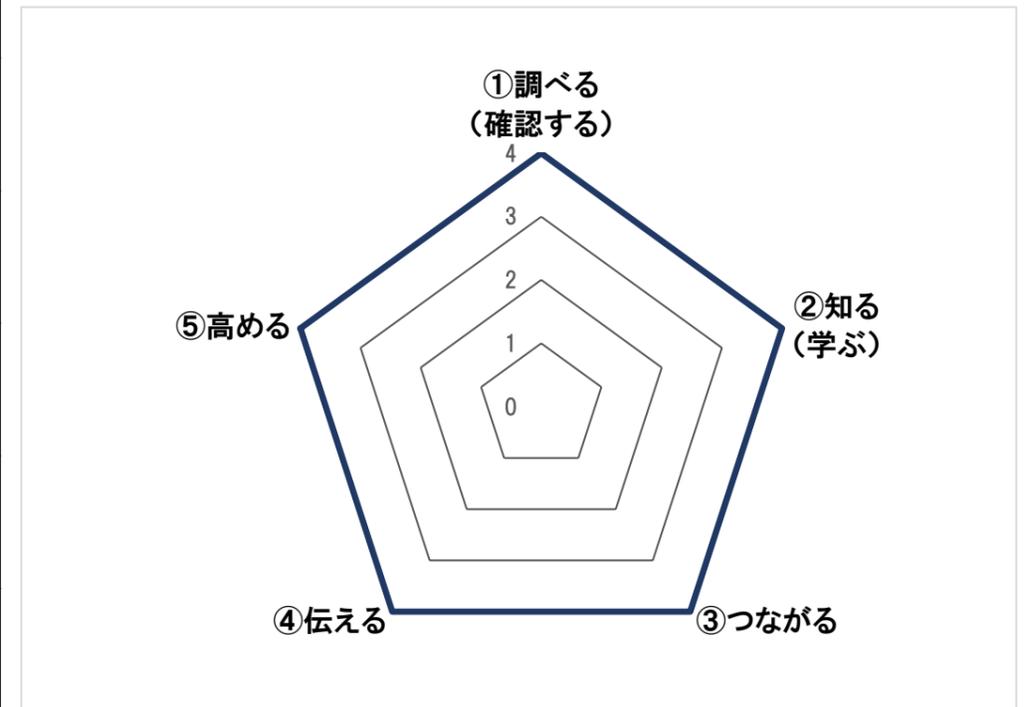


幌別西小学校区

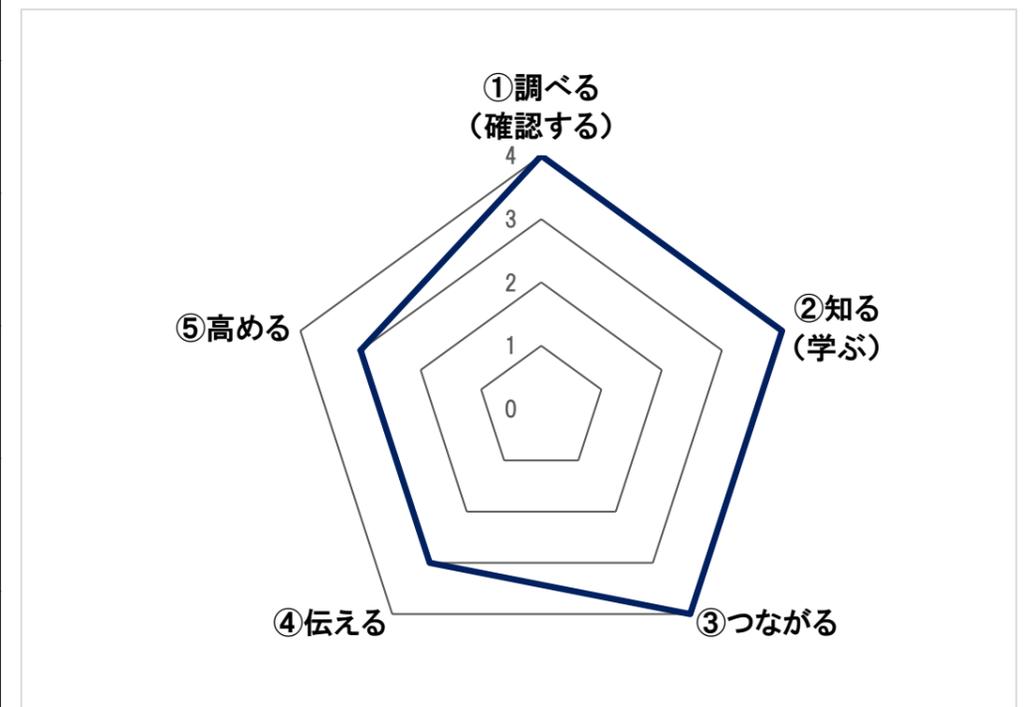
校区活動(校区きずな推進委員会の運営、住民座談会の開催)

評価指標	内容	点数	2020年度に向けて
①調べる (確認する)	きずな推進委員会等で、地域福祉について意見を共有し、他地域の理解を深め合ってきた。	4	継続して実施する。
②知る (学ぶ)	住民座談会は開催できなかったものの、勉強会や会議を通して学びや気づきを深めていった。	4	継続して実施する。
③つながる	町内会の各種行事において地域のきずなが深まってきている。	4	地域全域にきずな活動が広がるよう各地域に働きかける必要がある。
④伝える	各地域での行事等を通して、地域での人と人とのつながりの大切さを伝えてきた。	4	継続して実施する。
⑤高める	各種行事において、認識や理解を高めることが出来た。	4	今後も地域の小さな声を拾いながら継続して実施する。



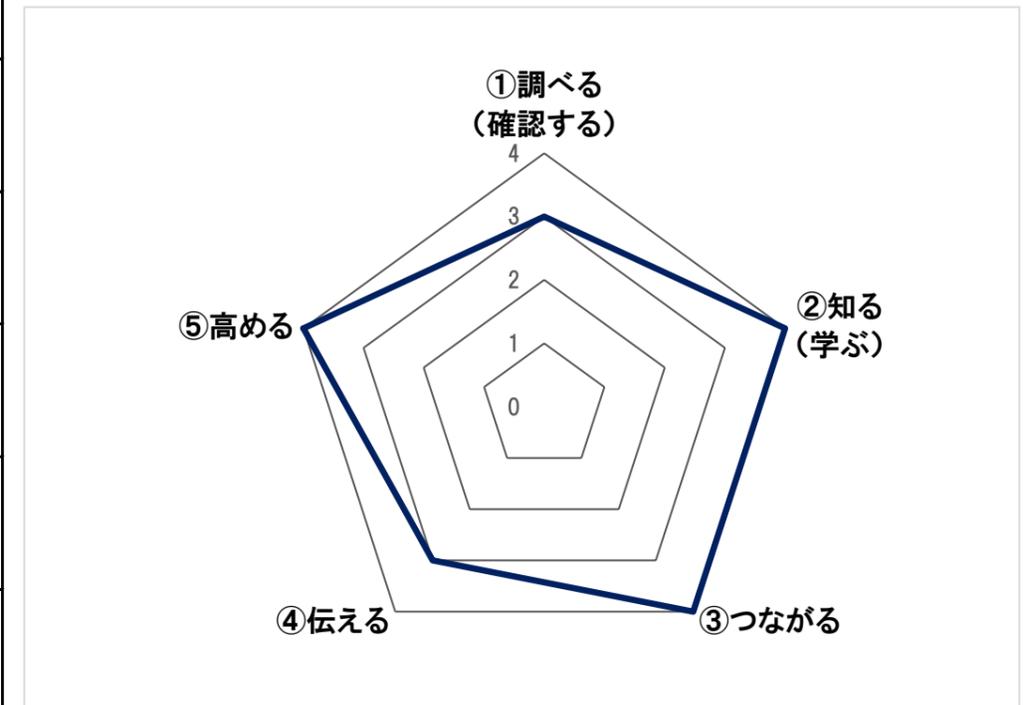
日頃からの見守り・訪問・声かけの推進(小地域ネットワーク活動の充実)

評価指標	内容	点数	2020年度に向けて
①調べる (確認する)	全市割合からみても台帳の配付率は高く、その理解についても普及するよう努めている。	4	コロナ禍で行えない取り組みも多くあるが、できることを大切にしながら行っていく。
②知る (学ぶ)	会議や勉強会を通して、意見交換や取り組み状況について疎通を図ってきた。	4	継続して行う。
③つながる	地域差は否めないものの、周知活動を継続した。また、見守り時になにか変化があれば適宜関係者をつないでいる。	4	各地区、委員にも働きかけていく。
④伝える	H29の委員増加以降、本活動が各地区へ伝わる経路作りの取り組みを継続している。	3	継続して行う。
⑤高める	町内会や民生委員との繋がりを強め、連携強化を図っている。	3	電話やまごころレターなどを活用しながら取り組みをより進める。



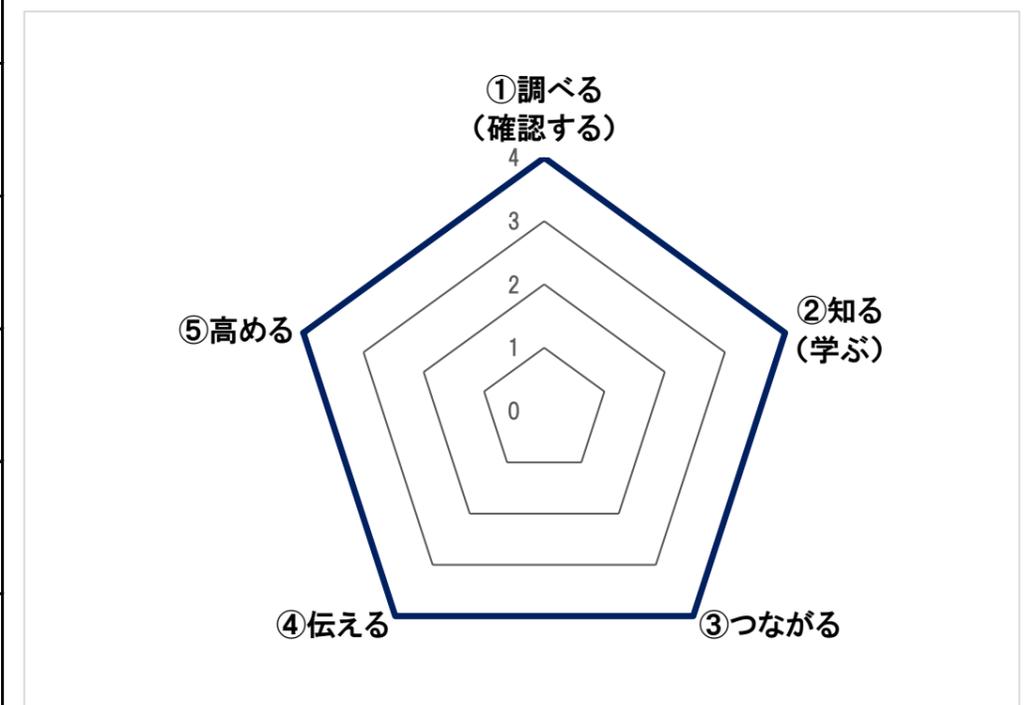
居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあい・いきいきサロンの推進)

評価指標	内容	点数	2020年度に向けて
①調べる (確認する)	既存のサロン活動や老人クラブ活動等は継続的に行われている。	3	継続して行う。
②知る (学ぶ)	サロン活動を通して、日頃関りの少ない方や独居高齢者等との接点を作ることは出来た。	4	継続して行う。
③つながる	民生委員や専門職の継続的な参加により、関わりとしての入り口や相談場所としても機能している。	4	継続的に専門職にも協力を働き掛ける。
④伝える	地域差はあるものの、日頃の福祉活動(きずな)が重要であり、普及も少しずつ行っている。	3	各者の活動が「きずな活動」でもあることを携わっている方々に理解を促していく。
⑤高める	支援者と利用者、双方にとって地域の居場所として機能している。	4	コロナ禍で活動をしないことが当たり前にならないようにできることを続けていく。



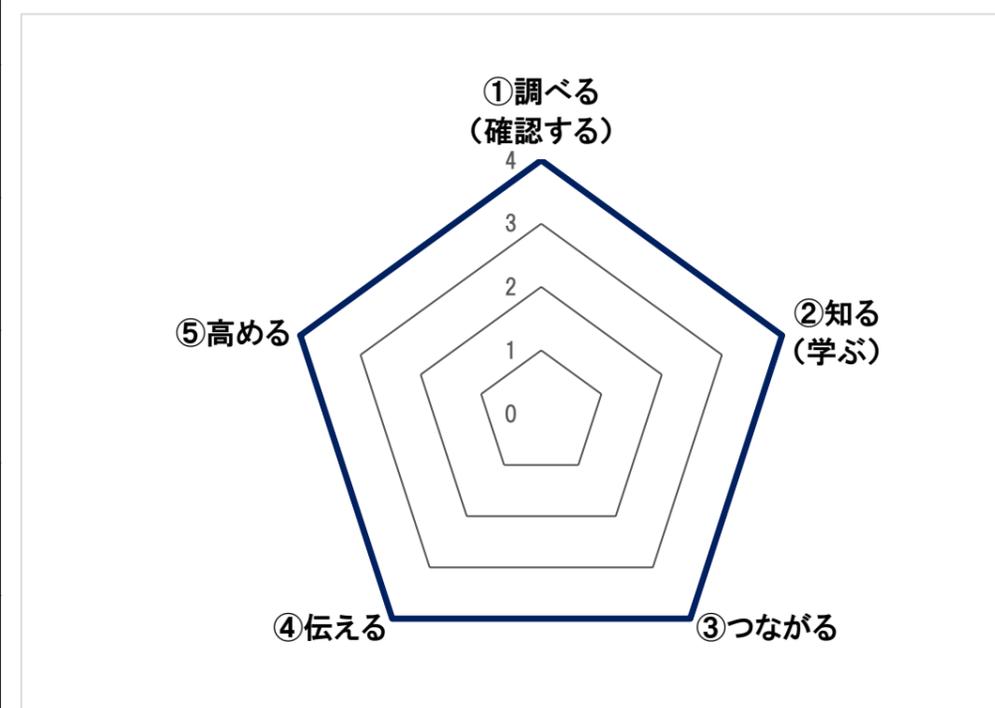
世代間交流(子育て支援、世代間交流活動の連携・情報共有)

評価指標	内容	点数	2020年度に向けて
①調べる (確認する)	明日中等教育学校の生徒との意見交換を行い、若い世代の考えや町に対するイメージを確認し、刺激を受ける事ができた。	4	明日生徒も大事だが、幌別西小学校・西陵中学校の児童・生徒とも意見を交わす必要がある。
②知る (学ぶ)	明日中等教育学校の生徒との意見交換を通して、今後の登別に対する考えや発想を知ることが出来た。	4	互いが学び合う機会として今後も実施する。
③つながる	各町内会行事や意見交換会を行い、これまで以上に各世代間との接点を持つことが出来た。	4	継続して行う。
④伝える	行事や意見交換会を通して、10代の若い世代に町のことや活動について誓いを促すことが出来た。	4	継続して行う。
⑤高める	世代間交流の場に参加したことで、各委員の意識や若い世代が考えることについても触れることが出来た。	4	継続して行う。



防犯・防災活動(避難訓練の実施や緊急時の連絡体制の整備)

評価指標	内容	点数	2020年度に向けて
①調べる (確認する)	幌別西小学校・西陵中学校との協働により避難訓練を実施し、自宅からの避難行動について確認することができた。	4	学校協働の実施は隔年になるが、継続して実施する。
②知る (学ぶ)	子どもたちを交えた訓練を実施したことで、子どもたちの学びに寄与することができた。	4	様々な災害パターンを想定して研鑽を深めていく必要がある。
③つながる	訓練の実施を通じて、学校や生徒とのつながりを強める事ができた。 また、避難の際に要支援者への支援を促すことで個々のつながりを築くことに寄与できた。	4	父兄も交えた意見交換の場の必要性を感じる。
④伝える	各種活動を通じて、日頃からの備えや動きを知ることの重要性を伝える事ができた。	4	小地域ネットワークなどとも連携しながら継続して行う。
⑤高める	訓練の実施や連絡体制の整備を進めたことで、地域内の防災意識向上や体制強化に寄与することができた。 また、発電機を備える地域も増加した。	4	継続して行う。



校区きずな推進委員会 委員

リーダー	島田 幸一	きずな推進委員	伊藤 信一	きずな推進委員	小沢 裕美子
サブリーダー	石山 典子	きずな推進委員	宮地 真治	きずな推進委員	内山 雅義
サブリーダー	村井 寿行	きずな推進委員	鈴木 尚美	きずな推進委員	木村 俊子
きずな推進委員	三浦 忠夫	きずな推進委員	工藤 章造	きずな推進委員	細川 重雄
きずな推進委員	太田 通	きずな推進委員	岡田 敏治	きずな推進委員	楠本 賢一

1. 校区活動

日にち	名称	人数	内容
5月28日	第1回幌別西小学校区きずな推進委員会	8名	1)昨年度の校区きずな計画評価について 2)今年度の校区きずな計画の実施内容について
9月18日	第2回幌別西小学校区きずな推進委員会	8名	1)北海道登別明日中等教育学校生徒と地域住民の意見交換について 2)幌別西地区避難訓練の実施について 3)地域拠点丸ごと支え合い事業の進捗状況等について
1月14日	第3回幌別西小学校区きずな推進委員会	9名	1)幌別西小学校区住民座談会の内容について 2)北海道登別明日中等教育学校生徒と地域住民の意見交換について 3)地域拠点丸ごと支え合い事業の進捗状況について
—	幌別西小学校区住民座談会	—	※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

2. 日頃からの見守り・訪問・声かけ(小地域ネットワーク活動)

柏木町内会	柏木団地町内会
プレハブ町内会	新和会
山手町内会	新川町内会
香風町会	西団地町内会
片倉町内会	

実施率 75.0% (9 / 12)

3. 居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあい・いきいきサロン、ふれあい会食会)

ふれあい・いきいきサロン

サロン皆の衆	風と共に歩こう会
香風町会ふれあいサロン	ふれあいサロン

ふれあい会食会

柏木町内会	柏木団地町内会
新和会	新川第二町内会
香風町会	片倉町内会
西団地町内会	

実施率 58.3% (7 / 12)